

令和 8 年度

第 1 回水戸市鯉淵市民センター運営審議会

日 時 令和 8 年 6 月 29 日(月)
午後 1 時 30 分から
場 所 水戸市鯉淵市民センター 会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 題
 - (1) 令和 7 年度利用状況について
 - (2) 令和 8 年度事業計画について
 - (3) その他
- 4 閉 会

○水戸市鯉淵市民センター運営審議会委員名簿（順不同・敬称略）

任期 令和6年10月1日～令和8年9月30日

役職名	氏 名	選出区分	備 考
会 長	藤原 亮悦	市民活動団体	鯉淵地区住民の会会長
副会長	伊藤 とよ子	社会教育関係者	シルバーリハビリ体操講師
	大畠 恵美子	学識経験者	元主任児童委員
	飯村 健一	学識経験者	市社会福祉協議会鯉淵支部副支部長
	大鐘 はるえ	学識経験者	元絵てがみ教室代表
	濱谷 一正	学校教育関係者	水戸市立鯉淵小学校校長

○水戸市鯉淵市民センター 職員名簿

職 名	氏 名
所 長	菊池 潤
会計年度任用職員	青柳 由美
会計年度任用職員	打越 美加
会計年度任用職員	中村 春美

議題

(1) 令和7年度鯉淵市民センター利用状況について

令和7年度 月別使用状況

諸室名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度比
ホール	件数	35	36	43	41	34	48	37	41	48	39	42	49	493	98.8%
	人員	471	470	625	507	379	621	444	425	559	461	674	580	6,216	98.5%
和室	件数		2		1		1	1	1	1	3	5	1	16	177.8%
	人員		13		3		10	3	3	1	18	58	3	112	101.8%
会議室	件数	25	30	23	20	20	17	21	18	20	15	34	16	259	80.2%
	人員	157	239	183	158	173	114	169	148	159	150	1,818	170	3,638	121.0%
調理室	件数		2	1	2	1		2	1	1	1	3	1	15	41.7%
	人員		14	8	45	8		23	17	17	18	26	18	194	57.9%
図書コーナー	人員	9	4	13	3	5	3	2	4	7	3	3		56	130.2%
計	件数	60	70	67	64	55	66	61	61	70	58	84	67	783	90.3%
	人員	637	740	829	716	565	748	641	597	743	650	2,579	771	10,216	104.2%

令和6年度 月別使用状況

諸室名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ホール	件数	38	43	46	44	40	43	41	46	42	34	40	42	499
	人員	472	569	572	512	361	528	435	577	657	392	642	592	6,309
和室	件数	2	1		1	1		1	1			1	1	9
	人員	22	15		17	15		2	3			33	3	110
会議室	件数	65	25	21	18	12	20	27	21	18	19	48	29	323
	人員	295	256	202	175	142	175	223	167	194	173	747	257	3,006
調理室	件数	2	2	2	3	3	4	3	2	2	4	7	2	36
	人員	17	18	14	45	33	33	21	14	17	41	69	13	335
図書コーナー	人員	4			2		5	4	5			13	10	43
計	件数	107	71	69	66	56	67	72	70	62	57	96	74	867
	人員	810	858	788	751	551	741	685	766	868	606	1,504	875	9,803

(2) 令和8年度事業計画について

ア 市民センター運営方針及び重点目標

毎年度、市で「市民センター運営方針及び重点目標」を定めており、それに基づき、「鯉淵市民センター運営方針及び重点目標」を別添資料1のとおりとしたい。

イ 生涯学習活動の推進

① 定期講座

a 教室

講座名	講師名	開催曜日	定員	募集	R8 受講	備考
太極拳	中川 けい子	第1・3 木曜日	25 名	25 名	11 名	
愛唱歌を歌おう	荒岡 絢香	第2・4 木曜日	25 名	25 名	16 名	
鯉淵 子ども太鼓	鯉淵おはやし 保存会	第3 土曜日	25 名	25 名	15 名	
ZUMBA	小林 葉子	第2 日曜日	25 名	25 名	21 名	

b クラブ

講座名	講師名	開催曜日	定員	募集	R8 受講	備考
絵てがみ	大津 早苗	第1・3 月曜日	20 名	9 名	11 名	
フラワー	榊原 恵子	第4 水曜日	15 名	0 名	15 名	
フラダンス	谷萩 美智子	第1・3 木曜日	15 名	9 名	5 名	
ヨ ガ	横山 みつこ	第1・3 金曜日	30 名	2 名	29 名	

② 鯉淵市民センターふれあい作品展示会

市民センター定期講座等学習の発表の場として、さらに、地域児童生徒の作品を多くの市民の方に見学していただき、地域住民の交流の場とする「ふれあい作品展示会」を2月上旬頃に開催する。

③ 一般教養講座

a 家庭教育学級（会場：鯉淵小学校）

期 日	内 容	備考
6月26日（金）	「親子ヨガ」 講師 仲田 恵美	1年生及び 保護者対象
2月18日（木）	「スプリングコンサート」 講演 久保田 明子 川成 香澄外1名	1年生及び 保護者対象

b 家庭教育強化事業

期 日	内 容	募集人数
8月19日（水）	「親子リトミック」 講師 高橋 優子 （共催：鯉淵子育て広場）	30名
12月9日（水）	「クリスマスコンサート」 講演 みとびよ音楽隊 （共催：鯉淵子育て広場）	30名
1月26日（火）	家庭教育講演会 演題未定 講師 十万 久美子	鯉淵小学校 新入生保護 者対象

c 青少年教育講座

期 日	内 容	募集人数
7月30日（木）	サマースクール「子ども料理教室」 講師 三熊 理恵	12名
8月6日（木）	サマースクール「子ども絵画教室」 講師 佐々木 弥生	15名
12月28日（月）	ウィンタースクール「UVレジンでキーホルダー作り」 講師 田中 美加	15名

d 女性教養講座（女性セミナー）

期 日	内 容	募集人数
8月3日（月）	「ストレッチ&セルフマッサー教室」 講師 岡田 典子	20名
11月27日（金）	「クリスマスリース作り」 講師 榊原 恵子	20名
12月18日（金）	移動学習 川越方面（予定） 行程検討中	25名

e 高齢者教育講座（鯉淵いきいきカレッジ）

期 日	内 容	募集人数
7月3日（金）	「茨城県警察音楽隊コンサート」 講演 茨城県警察音楽隊	30名
8月27日（木）	「わが家の防災 地震・風水害等に備えて」 講師 水戸市防災・危機管理課職員	30名
10月27日（火）	「3B体操」 講師 小高 順子	30名

f 成人教育講座

期 日	内 容	募集人数
9月8日（火）	「姿勢と歩き方講座」 講師 鈴木 律子	20名
10月2日（金）	移動学習 行先・行程検討中	25名
1月12日（火）・ 1月26日（火）	「味噌作り講座」 講師 長山 勝紀	各回16名

ウ 地域コミュニティ活動の推進

① 地域コミュニティ活動への支援

各自治会から鯉淵住民の会へ提出される届出書等の受付業務や「みと町内会・自治会カード」事業等への支援を行う。各地域コミュニティ団体の実施事業の参加者からの問い合わせ等に対応するほか、役員会等に積極的に出席し、事業の進捗状況を共有するなど、コミュニケーションを密にとることとする。

② 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターのホームページの中で、地域情報を積極的に発信し、地域の魅力向上に努める。

③ 地域防災活動との連携

災害時の初動対応について、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、地域における防災組織と連携して防災研修会を実施する。

エ その他

- | | |
|-----------------------------|---------|
| ① 鯉淵子育て広場（子ども政策課、鯉淵子育て支援の会） | 【月1回】 |
| ② サロンこいぶち（サロンこいぶち運営委員会） | 【月1回】 |
| ③ シルバーリハビリ体操教室（高齢福祉課） | 【月1回】 |
| ④ いきいき健康クラブ（高齢福祉課） | 【月1～2回】 |
| ⑤ 楽しい体操（内原地域包括支援センター） | 【月1回】 |
| ⑥ こどもスペース（子ども政策課） | 【随時】 |

（3）その他

ア 市民センター利用における有料化について

市民センターの持続可能な運用を図るとともに、市民にとって利用しやすい環境を整備するため、一部の利用団体について有料化を検討している。**資料2**

イ 地域学校協働活動について

地域の子供たちが学んでいる鯉淵小学校の様々な課題の解決やさらなる子供たちの学びの充実を目指し、地域コミュニティと連携した地域学校協働活動を推進する。地域の力を学校教育に活かす体制づくりとして令和5年度に立ち上げた「鯉淵小学校応援団」の募集を本年度も小学校と連携して行い、学校教育活動の支援体制の充実を図る。

資料3

令和 8 年度水戸市鯉淵市民センター運営方針及び重点目標について

運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられる豊かな地域を形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

鯉淵市民センターにおいては、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努める。また、東日本大震災での経験や近年の台風大型化への警戒等を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

重 点 目 標

1 地域コミュニティ活動の推進

(1) 地域コミュニティ活動の活性化

- ア 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプランの実現に向けた取組への支援を促進し、水戸市住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。
- イ 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。
- ウ 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携強化を図り、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。特に水戸市住みよいまちづくり推進協議会との協働により、「みと町内会・自治会カード」事業の更なる魅力の向上を図る。
- エ 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

(2) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等にあわせたコミュニティルームの積極的な利用を促進するとともに、適切な施設の整備及び維持・管理に努める。

また、各市民センターのホームページの中で、地域情報を積極的に発信し、それぞれの地域の魅力向上に努める。

さらに、市民センター施設予約管理システムの円滑な運用に向け、利用団体や市民への周知・案内等の支援を行い、利便性の向上に努める。

(3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであ

ることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

(4) 地域における子育て支援

未来をリードする子どもたちを温かく見守りながら、まち全体で育むため、市民センターにおいて「子育て広場」及び「こどもスペース」を設置し、地域における子育て支援に努める。

2 生涯学習活動の推進

(1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、どのような状況下でも学びを止めることなく、「個人の要望」する学習による生きがいづくりを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子・高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会を提供する。

そのため、水戸市における生涯学習事業を総称した「みと弘道館大学」に位置付けた、一般教養講座や定期講座を開催するとともに、みと好文カレッジにおける事業を活用しながら、市民のライフスタイルに定着し、生涯にわたって学び続けることができるよう、学習機会の充実に努める。

ア 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

イ 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくため、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。特に、デジタル・ディバイド解消のため、高齢者等に向けたＩＣＴリテラシーを身につける講座の充実に努める。

また、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開する。

ウ 家庭教育や子育てを支援する講座等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割があることから、家庭教育について考える機会を提供するため、学校等における家庭教育学級や家庭教育講演会を開催する。

また、未就園児の保護者が家庭教育について学び、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができるよう支援するため、家庭教育強化事業を実施する。

(2) 学習の成果を生かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに生かせるよう、地域人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

ア 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用を推進する。

イ 学習の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、生涯学習の成果を発表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

ウ 学習の成果を地域活動に生かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に生かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につなげられるよう、人材の育成と活用に努める。

エ 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で生涯学習の成果をどのように生かし、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業についての自己評価及び運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営を図る。

(3) 家庭・地域・学校の連携の強化

家庭・地域・学校が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組む体制を構築し、地域社会全体の教育力の向上を図ることができるよう、市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能充実に努める。

ア 次代を担うこどもたちの「生きる力」を育む

地域、学校と連携を図りながら、様々な形で異なる世代での交流や大人と接する事業など、こどもたちが地域活動に参加する場を提供し、地域社会全体で次代を担うこどもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

イ 社会全体で支える家庭教育

こどもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、地域の人的資源を子育て支援事業や学校活動支援事業に活用し、家庭教育を地域社会全体で支える仕組みづくりに努める。

市民センター利用における有料化について

1 現状と課題

市民センターは、地域コミュニティ活動や生涯学習活動などの拠点として、多くの団体に利用いただいております。

市民センターの運営に関わる経費につきましては、市費で負担していますが、物価高騰等の影響に伴い、施設の維持・管理に係る費用が増大している状況であります。持続可能な運営を図るためには、利用者からの一部負担も含めた検討が必要と考えております。

また、市民センターの利用に当たりましては、居住地に関係なく、無料で利用できることとなっていることから、市民の皆様が、希望する日にちや施設を利用できないことなども課題となっております。

2 有料化の概要

市民センターの持続可能な運用を図るとともに、市民の皆様にとって利用しやすい環境を整備するため、以下のとおり、一部の利用団体について有料化を検討しております。

項目	内容
対象	・ 団体構成員のうち、水戸市に居住する方の割合が「7割未満」の団体 ※水戸市に居住する方が「7割以上」の団体は、引き続き、無料で利用いただけます。 ※市主催の定期講座（教室・クラブ）及び教養講座は、居住者の割合に関わらず対象外。
開始時期	・ 令和9年4月利用分から
使用料	・ 「部屋の種類」や「時間帯」に応じて設定します。
支払方法	・ 利用予約の際に、クレジットカード決済での事前払いを基本とします。 ※クレジットカード決済ができない団体については、コンビニでの支払いでも可。
備考	・ 申請の際に、意図的に居住地を偽るなどの行為があった場合は、利用停止や罰則を科す場合があります。

3 スケジュール

時期	内容
令和8年 9月	・ 条例改正
〃 10月～	・ 利用団体や市民等へ周知
令和9年 1月	・ 団体登録や更新の申請受付開始 ・ 市民センターでの承認作業開始（使用料の対象となる団体を判断）
〃 2月	・ 令和9年4月利用分の抽選申込み開始
〃 3月	・ 令和9年4月利用分の抽選結果発表、予約受付・使用料の支払い開始

鯉淵地区の皆様へ

「鯉淵小学校応援団」募集！

～「地域とともにある学校」として学校と地域が連携し、
安全・安心な学校、よりよい教育活動を目指します～

鯉淵小学校では、地域とともにある学校づくりに取り組んでおり、様々な課題の解決やさらなる教育活動の充実を目指し、地域コミュニティと連携した地域学校協働活動を推進しています。

保護者や地域の皆様と教育活動を協働していくため、鯉淵市民センターと連携し、「鯉淵小学校応援団」に登録していただいています。登録してくださった方には鯉淵小よりご連絡し、具体的に依頼させていただきます。

～地域の方とのふれあいを通じて、地域に愛着をもてる子供たちを育てていきます～

6月	5年校外学習(市内班活動)児童見守り	11月	5・6年家庭科ミシン学習補助
7月	教育環境整備(花壇花苗植え)	2月	教育環境整備(花壇花苗植え)
	4年算数そろばん学習補助	3月	3年算数そろばん学習補助
8月	教育環境整備(除草作業)		

※ 主な予定です。

学級懇談会時の預かり児童の見守りは、ありません。

ご協力をお願いするときには、鯉淵小から連絡をいたします。

【登録方法】

下記のいずれかの方法で登録をお願いします。

- ・右側 QR コードからの登録
- ・裏面の登録用紙を FAX 送信、または鯉淵市民センターへ提出
- ※昨年度登録してくださった方は再度登録していただくなくても結構です。
- ご協力いただける内容の変更や追加等があればご連絡ください。



地域の方

【募集期間】

令和8年5月 25日(月)～ 令和8年6月 19日(金)

※登録は、募集期間後も随時受付しております。

【問い合わせ先】

- ・鯉淵小学校 TEL(029)259-2239 FAX029-259-2252 桧山 龍樹(教頭)
- ・鯉淵市民センター TEL(029)259-7821 菊池 潤(所長)

鯉淵小学校応援団 新規登録用紙

受付日: 令和 年 月 日

ご協力いただける活動内容に該当するカタカナ記号 を右欄にご記入ください。(複数可)	(1)各教科の授業補助 ア 家庭科ミシンによる裁縫指導補助 イ 算数科そろばんの学習指導補助 ウ 生活科「昔遊び」(あやとり・めんこ・コマなど)の補助 エ その他(の指導補助) ※絵画、音楽など		
	(2)児童の見守り ※登下校の見守りは、鯉淵地区防犯パトロール隊の方を、スクールガードとして登録させていただいております。 ア 校外学習等 行事の際の見守り		
	(3)環境整備への支援 ア 花壇の整備(花苗植え) イ 運動場等の除草		
	(4)体験活動(※米づくり協力隊の方は、登録させていただいております。) ア キャリア教育などへの支援(具体的に ○○教育への支援) ()		
	(5)その他 ()		
お名前			
ご住所			
自治会名			
電話番号		携 帯 電話番号	
メールアドレス			
備考			

※FAXの方は、送り状なしでこのまま送信してください。 FAX 番号:鯉淵小学校(029)259-2252

※鯉淵市民センター窓口においても受付しております。(平日の午前8時30分から午後5時まで)

昨年度までに登録してくださった方は再度登録していただくなくても結構です。

ご協力いただける内容の変更や追加等があれば、ご連絡ください。